

外国人患者受け入れ環境整備のための
医療通訳養成研修
Training Program for Medical Interpreter



主催：国立国際医療研究センター 国際診療部 / 国際医療協力局
後援：一般財団法人 日本医療教育財団

NCGM医療通訳研修

●プログラムの目的

日本に長期・短期に滞在する外国人の方が、安心して医療を受けられるように、患者・家族—医療者のコミュニケーションをサポートする通訳を養成します。

●対象

- 1) すでに医療通訳として活動をしているが、体系的に学んだことがない人
- 2) 医療以外の通訳の実績はあるが医療通訳の実地経験がない人
- 3) 通訳としての活動は未経験であるが、研修終了後に通訳としての業務に従事予定の人
- 4) 通訳業務を行う予定はないが、通訳とともに外国人患者支援に関わる人・関わる予定の人

●認定証・修了証の発行

「NCGM医療通訳認定証」

研修のⅠ～Ⅳを全て修了または条件を満たした人に発行します

※研修Ⅲ(演習)Ⅳ(実習)については、すでに通訳業務に従事し一定の経験を有する場合、実績書の提出と実技試験によりⅣを終えたものとみなすことが可能です。

「医療通訳研修修了証」

医療通訳研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ それぞれについて規定の条件を満たした人に発行します。

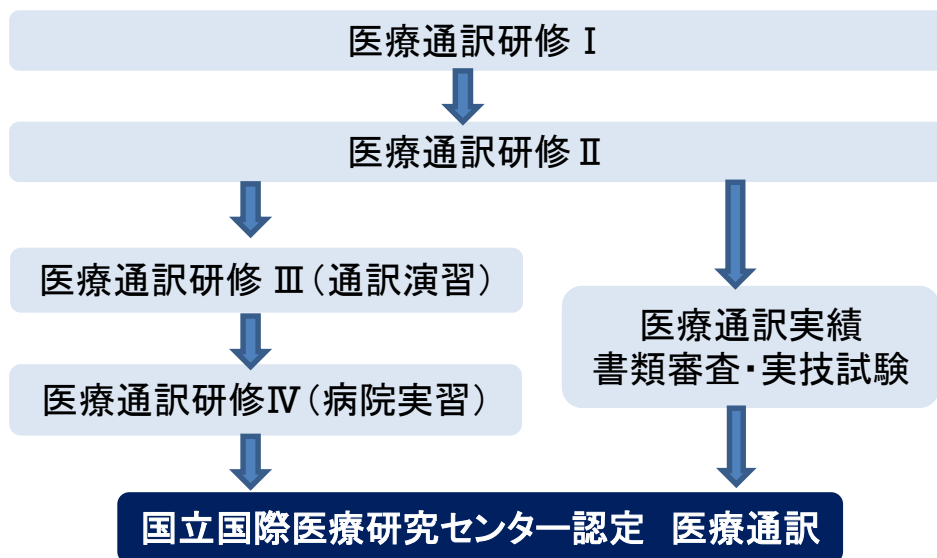
| | | 対象 |
|------------------|---|--|
| 医療通訳研修Ⅰ (3日間) | 医療通訳の基礎・応用：集合研修・グループワーク・課題(20時間) | ■これから医療通訳に関わる予定の人 ■すでに医療通訳業務に関わっているが、体系的な研修を受けたことがない人 ■医療通訳と一緒に働く医療関係者 等 |
| 医療通訳研修Ⅱ (5日間) | 医学・疾患・医療制度：集合研修・グループワーク・課題(40時間) | |
| 医療通訳研修Ⅲ (3日間) | 実技・演習：集合研修 グループ実習(20時間) | 研修ⅠⅡを終了した人で、語学要件を満たす人 |
| 医療通訳研修Ⅳ | 臨地実習(30時間) スーパーバイズを受けながら外来及び病棟にて通訳支援事例を担当。 | 研修ⅠⅡⅢを終了した人で、NCGMでの実地訓練を希望する人 一定の語学要件を満たす人 |

各研修ごとに一定の要件を満たした人は修了証を発行します。
研修Ⅰ～Ⅳを終えた方には認定証を発行します。
研修修了者は、参加された方はNCGM内で開催する関連の研修会等に参加が可能です。

研修は各コースごとに申し込みが可能です。

研修参加費(講師配布資料代込) 指定口座への振込みを持って受付確定とします
振込先はお申し込みをされた方にご案内します。

医療通訳研修Ⅰ : 50,000円
医療通訳研修Ⅱ : 100,000円
医療通訳研修Ⅲ : 50,000円
医療通訳研修Ⅳ : 100,000円



【研修参加者の条件】

◆研修 I・IIについては制限なし

◆研修 III・IVについては下記のとおり

- ・原則として満20歳以上である
- ・母語において、大学入学相当の語学力と高校卒業程度の知識がある
- ・対象言語において高度な会話や議論ができる
 - ※健康についての抽象的あるいは具体的な話題について理解することができる
- ・母語、対象言語の国や地域における習慣・価値・社会常識を理解している

各言語別学習能力試験（ヨーロッパ言語共通参照枠『CEFRにおけるB2以上』のめやす）、

中国語 HSK4級

英語 TOEFL iBt87-109, TOEIC Listening400以上, Reading385以上

日本語能力試験 N1

【研修修了の条件】

- ・すべての講義への参加(e-learningによる補講受講を含む)
- ・研修記録の提出
- ・研修中に作成した用語集の提出
- ・レポートの提出
- ・能力試験において評価規定を一定満たしていると評価されること

【参考資料】 ※講義で使用する資料は別途説明します

『医療通訳学習テキスト』 創英社

『医療通訳と保健医療福祉 -すべての人への安全と安心のために-』 杏林書院

『医療通訳』 一般財団法人 日本医療教育財団

医療通訳研修プログラムの内容(予定)

当研修プログラムは、厚生労働省「平成25年度医療施設運営費等補助金 医療機関における外国人患者受入れ環境整備事業」の医療通訳育成カリキュラム基準(合計 112.5時間)に準拠し、立案しています。行動規範としては、日本医療通訳士協議会の倫理綱領の内容を研修全体を通じて反映するよう各講義の準備段階で配慮を行います。

医療通訳研修Ⅰ(医療通訳の基礎・応用: 集合研修) 20時間

医療通訳者の役割や責任を理解し、通訳技術、倫理を身につける

- ・医療通訳者の役割(医療通訳についての基礎概念や知識)
- ・言語プロフィール(自分自身の言語能力の把握、用語集の作成方法)
- ・専門職としての意識と責任(医療通訳者として遵守すべき倫理)
- ・医療従事者と患者の文化的及び社会的背景についての理解
- ・医療通訳者のコミュニケーション力(異文化コミュニケーション、対人コミュニケーション、文化仲介)
- ・医療通訳者の自己管理(健康管理、心の管理、感染予防)
- ・通訳実技(情報の収集方法、通訳業務の流れとその対応、通訳者の立ち位置とsの影響、非言語コミュニケーションの応用、場面別模擬通訳)
- ・事例学習

医療通訳研修Ⅱ(医学・疾患・医療制度: e-learning研修) 40時間

通訳実務に必要な基礎的な医療知識、関連知識、対応力、通訳技術を身につける。

- ・日本の医療制度に関する基礎知識
- ・身体の仕組みと疾患の基礎知識
- ・検査、薬、感染症に関する基礎知識
- ・各診療科でよく経験する疾患についての基礎知識
- ・事例学習

医療通訳研修Ⅲ(実技・演習: 集合研修) 20 時間

通訳実務に必要な関連知識、対応力、通訳技術を身につける。

- ・外来や病棟でよくある疾患について、実際の通訳
- ・通訳に必要な通訳技術①(逐次通訳のプロセスとトレーニング)
- ・通訳に必要な通訳技術②(技術の復習とノートテーキング、模擬通訳)

医療通訳研修Ⅳ(臨地実習) 30時間

現場指導者、コーディネーター、スーパーバイザーの指導のもと、実際の病院の事例に同席し、医療通訳の業務範囲、介入方法、事後の記録やスタッフとの情報共有の実際を学ぶ

実習機関: 国立国際医療研究センター 及び協力機関

※上記以外にレポート作成・試験・振り返り等で(約10時間)の課題があります

NCGM医療通訳研修Ⅰ・Ⅱ 申込書

| | |
|--|--|
| 氏名 (日本語) | |
| 氏名 (英語表記) | |
| 母国語 | |
| 通訳可能・予定言語 (取得済み資格があれば明記) | |
| 連絡先 | メールアドレス 電話番号 住所 |
| 所属 | |
| 申し込み | <input type="checkbox"/> 研修Ⅰ 2016年2月12日～14(3日間) 受講費 50,000円 <input type="checkbox"/> 研修Ⅱ 2016年3月19日～21日、26日・27日(5日間) 受講費 100,000円 |
| 質問事項 | <p>これまでに体系的な通訳養成研修を受けたことがある <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>これまでに業務として通訳を行ったことがある <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>医療関係の資格を持っている <input type="checkbox"/> はい【<input type="checkbox"/> 免許】 <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 養成課程在籍中</p> <p>研修終了後、医療通訳に従事する予定である <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 未定</p> <p>研修費を支払うのは <input type="checkbox"/> 参加者個人 <input type="checkbox"/> 所属先 <input type="checkbox"/> その他()</p> |
| <p>【注意事項】</p> <p>1) 受付は受講料支払い完了後に確定します</p> <p>2) 受講に関する連絡は原則としてメールで行います</p> <p>3) 修了証は講義・ワークへの出席が80%以上、欠席した分の指定課題を提出した場合に発行されます。 規定に満たない場合は、発行されません。</p> | |

ネットからお申し込みいただくことになっております。
詳細は ncgmicc@gmail.com へお問い合わせください

【講師・ファシリテーター】

押味貴之 日本大学 医学部 医学教育企画・推進室

大野直子 順天堂大学 国際教養学部 国際教養学科

沢田貴志 シェア副代表 港町診療所所長

藤平輝明 東京医科大学病院 総合相談・支援センター

国立国際医療研究センター 国際診療部 スタッフ

国立国際医療研究センター 国際医療協力局 スタッフ

等

運営協力 一般社団法人 JIGH



最寄り駅: 都営大江戸線「若松河田」徒歩5分

東京メトロ「早稲田」徒歩15分

新宿駅・新橋駅からの都バス「国立国際医療研究センター前」下車

162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 国立国際医療研究センター 国際診療部

代表 03-3202-7181

